

本学の男女共同参画推進計画策定を記念して、男女共同参画フォーラムが開催されました(6月27日)

学部横断の学生、教職員ら210人が参加して、「女性活躍とワーク・ライフ・バランスは組織の成長戦略」と題し、上記フォーラムがKPCで開催されました。

佐藤雅美学長挨拶のあと、基調講演の岩田喜美枝氏(東京都監査委員、元(株)資生堂副社長)からは、①仕事免除型育児支援から、育児中も本格的な仕事体験=キャリア支援ができるよう働き方改革に取り組むという、両立支援策の質の転換が行われてきていること、②男性の仕事と育児の両立や、③男女どもの仕事と介護の両立が今課題になっていることについて、歴史的流れをふまえてお話がありました。

そのあと、岩田氏、今村弥雪氏(川崎重工工業(株)人事本部労政部副部長)、清原桂子・男女共同参画推進室長による鼎談も行われ、今村氏からは、ネットワーク、人脈形成の大切さについて指摘がありました。学生との質疑もあって、最新の動きについて学び、考える場になりました。



KAC(5月21日)及びKPC(5月28日)で、介護ランチミーティングを開催しました

両キャンパスで開催された介護ランチミーティングに、あわせて15人が参加。「どれだけ続かわからないプレッシャーがある」「継続のためには、介護代替者がいることが大事」「職場への配慮や家族内の分担などの難しさ」「家族のことなので、あまり職場で言いにくい」「仕事の複数担当がないと、急な休みをとりにくい」など、率直な意見交換が行われました。介護について、自分で抱えずに、オープンにできる意識改革の必要も話し合われました。

「防災女子」が活動しています

“災害時こそ女子力で乗り切っていこう!”が合言葉。授業で学んだ専門知識を活かし、「やってみたくなる防災」を伝える活動に取り組んでいる「防災女子」。中心となるのは「災害時の食」に関する活動です。栄養学部の伊藤智先生にご指導頂きながら、ローリングストック法の紹介や災害食アレンジレシピの考案に取り組んでいます。

これからも、女性の視点と明るいパワーを活かして防災のネットワークを広げていきます。

(現代社会学部社会防災学科准教授 船木伸江)



神戸学院大学 男女共同参画推進室
住所 神戸市中央区港島一丁目1番地3
電話 078-571-0927 (内線 84453)
メール danjokyodo@j.kobegakuin.ac.jp

「日曜・祝日出勤時 一時保育」をスタートします

8月のオープンキャンパスから、日曜・祝日出勤時に一時保育の希望があった場合、学内に一時保育を行います。

- ◆利用対象：入試・オープンキャンパス・祝日授業日
- ◆対象年齢：1歳児から小学3年生まで
- ◆一時保育場所：【KPC】A号館6階 大会議室
【KAC】14号館3階 行動観察室
- ◆申込締切：利用日の3週間前まで
- ◆利用料(子ども1人について)

4時間未満	2,000円
4時間~6時間未満	3,000円
6時間以上	4,000円

(お問い合わせ：男女共同参画推進室)

「神戸学院大学 一時保育利用料補助制度」を7月利用分から開始します

- ◆利用対象
ベビーシッターサービス、ファミリーサポートセンター、児童福祉法第6条の3に規定する病児保育事業(県内59カ所 https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf11/hw10_000000077.html、県外は各府県HP参照)利用に要する費用
- ◆対象年齢 0歳児から小学3年生まで
- ◆補助内容 1回2,000円×10回(年度内上限)
- ◆利用条件
 - ・利用日に学内外での勤務があること
 - ・領収書等で利用及び金額が証明できること
 - ・2,000円未満は利用できません
 - ・対象の子ども1人の一度の利用について、複数回分の補助は不可
 - ・「ベビーシッター育児支援制度」との併用可(お問い合わせ：男女共同参画推進室)

現行「ベビーシッター育児支援制度」(内閣府事業：公益社団法人全国保育サービス協会運営受託)を使いやすく改善しました

【変更点】

- ①利用日1週間前までにベビーシッター割引券申込申請が必要 → (変更後) 利用予定に関係なく1回に上限5枚をお渡しします
 - ②利用後7日以内に割引券の半券を提出 → (変更後) 1ヵ月ごとに利用報告書と割引券半券を提出
- 全国制度のため、条件となっているベビーシッター事業所との事前の契約などが必要です。学内情報サービスまたは総務事務グループで早めにご確認ください。

ベビーチェアや子ども用椅子が配備されました。ご利用ください。

KPCのB号館IF多目的トイレ3カ所に、これまでのベビーベッドに加えて、ベビーチェアが配備されました。KACの14号館3Fに加えて、KPCでも、子ども連れで利用しやすくなりました。

同時に学内レストラン「ジョリポー」にも、子ども用椅子が新たに置かれました。

